

会員企業紹介

中国地域の

“輝業”

(敬称略)

西部技術コンサルタント(株)

● 経営者からのメッセージ



代表取締役
清水 英二

会社設立以来、主に電力会社や官公庁が発注する各種インフラ整備に関わってきました。長年、公共事業頼みで染み付いた受身の体質からの脱却を目指し『Wake Up Seibu』（目覚めよ西部）の企業スローガンを設定。社内の意識改革を図ると同時に、“いざという時には西部技術へ” お客様にとって身近な存在になる企業を目指しています。その目標を達成させる為には、全社員が営業マンであり、技術者である事が重要。常に、顧客満足を高めていく為に必要な競争力を強化しています。

● 事業内容を教えてください

弊社は昭和41年に測量会社として設立しました。その後は、建設業、建設コンサルタント業、地質調査業、補償コンサルタント業を順次展開。電力会社や、国、県、市が発注する土木建設工事等の調査・計画・設計に携わっています。近年は、老朽化した構造物等の補修に関わる調査・計測・設計が主流となっており、特に計測分野では、中国地方でも数社しか保有していない三次元計測機器（長距離と短距離の2タイプ）を5年前に導入し、全国各地で様々な構造物の計測を行っています。

● セールスポイント（商品など）を教えてください

5年前に導入し事業化した三次元計測業務です。弊社が得意とする土木建設工事分野から、新たに文化財分野、環境分野に進出する事が出来ました。東日本大震災発生から半月後には、宮城、岩手県内の土砂崩れ現場とプラント崩壊施設を余震が続く中で計測。応急仮復旧に必要なデータを提供する事ができました。また、文化財分野では、岡山県内を始め全国各地の発掘現場や古墳、城の石垣そして出土品の三次元計測を実施。文化財のデジタル化に寄与する事ができたと思っています。環境分野では、不法投棄現場の廃棄物の計測や、産業廃棄物処分場の残余容量などの計測を行っています。

● 特に力を入れていることを教えてください

公共事業費は、平成7年度のピーク時から50%を下回っていますが、1970年前後に建設された様々なインフラは、40年が経過。中央道のトンネル天井板の崩落は、氷山の一角であり、今後このような崩落は、日本各地で発生する恐れがあります。“建設の時代から維持の時代へ”その為に必要な社内の人材育成は、惜しみなく投資していきます。また、三次元計測事業で培った様々な業種、業界の関係者との連携を深め、維持管理に必要な新たな計測技術を共同研究・開発していきたいと思っています。

● プロフィール

- ・創業 昭和41年（1966年）6月
 - ・所在地 岡山県岡山市北区問屋町6番地101
 - ・連絡先 086-246-5666
 - ・代表者 代表取締役 清水 英二
 - ・従業員 87名（平成24年12月末）
 - ・URL <http://www.seibuct.jp>
- 〔グループ会社〕
株式会社イーラインサービス



地上型三次元
レーザースキャナ
災害現場・プラント・廃棄物
古墳・その他構造物



非接触デジタル
出力品・仏像・工業製品
その他